

学務系プログラム(レベル I)

①学生支援概論 ②入試情報調査論 ③学生相談入門

■講師



米澤 慎二

(愛媛大学 教育学生支援部 部長/SPOD-SD コーディネーター)

愛媛県立川之石高等学校卒業後、国立大洲青年の家採用、国立特殊教育研究所、香川医科大学(現香川大学)、東京医科歯科大学、愛媛大学で勤務、主に人事系を中心に業務を行ってきたが、国立大学法人化後、広報室長、総務課長(この間危機管理室長兼務)、人事課長、教育学生支援部次長を経て現職。SPOD-SDコーディネーターとして認定され活動している。



菊川 昭治

(愛媛大学 教育学生支援部 次長兼教育センター事務課長)

愛媛大学法文学部文学科卒業、同大学法文学専攻科史学修了後、同大学教養部に採用され、工学部、入試課において教務、厚生補導、入試関係業務(計 17 年)を担当、総務部企画室、学術情報部、総合情報メディアセンターにおいて情報化推進業務(計 15 年)を担当の後、入試課(3 年)を経て現職。



野本 ひさ

(愛媛大学 教育・学生支援機構 学生支援センター副センター長/教授)

愛媛県立医療技術短期大学(現大学)を卒業し看護師として勤務後、愛媛大学医療技術短期大学助手、愛媛大学医学部看護学科助手を経て同准教授として約 15 年間看護教育に携わる。主に看護実践力の基礎となるクリティカル・シンキングや人間関係論を担当してきた。平成 16 年度より愛媛大学学生支援センター副センター長を兼任し、22 年度には現職として学生支援に専門的に関わるようになる。

■プログラム概要

学生支援とは、学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するために大学が組織的かつ総合的に行う活動である。学生に対する支援も多様化し、学生は放っておけば自然に大人になる時代ではなく、今は大人への道筋で少し手助けをしないとけない場面が多々ある。本プログラムでは学生支援を担当する職員として基本的な知識を学ぶ。

一方、教育研究活動等の情報の公表が義務付けられたことを契機として、大学職員として情報収集や情報発信は重要な業務となっている。本プログラムでは、主に入試情報を事例として、教育情報の活用方法について学ぶ。

いずれのプログラムもワークを取り入れた実践的なものとし、自大学における日常業務に生かせるものとしている。

■主な受講対象

初めて学務系業務を担当することとなった職員
大学に採用され、1年目から3年目程度の職員

■本プログラムの到達目標

学生支援概論

1. 学生支援業務の概要を説明することができる
2. 学生対応にかかる現状・問題点を説明することができる
3. 学生生活にとって必要な情報を提供することができる

入試情報調査論

1. 受験生、保護者、高校等のニーズについて情報収集することができる
2. 入試に関するデータを収集することができる
3. 入試成績と入学後の成績等の情報を収集することができる

学生相談入門

1. 現状の学生の生活実態を説明することができる
2. 学生からの要望に適切に対応することができる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月21日(水)10:00～17:30

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 共通教育講義棟 1階 12番教室

定 員 : 40名